

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ①第72回厚真町成人式①
- ②第72回厚真町成人式②
- ③冒険の杜ワークショップ/冬休みスケート教室
- ④就学援助案内/育英資金案内/定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

若き門出に笑顔あふれる



第72回厚真町成人式

第72回厚真町成人式が、1月12日に総合福祉センターで開催されました。今年は平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方72人が対象で、30人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

式辞では、遠藤秀明教育長が「これからの時代を生きる皆さんには、過去の常識にとらわれることなく、柔軟な発想で社会と向き合い、活躍されることを期待しております」と激励しました。

このあと、誓いのことばを澤田昇磨さん、交通安全宣言を小向蓮太さんが行い、宮坂尚市朗町長から成人者に厚真町からの記念品が手渡されました。式典のしめくりには、成人を代表して佐々木鈴花さんによる答辞が述べられたあと、成人者全員が保護者に対して「20年間ありがとうございました」と声をそろえて感謝の言葉を述べ、涙ぐむ方も見られました。



式典終了後のアトラクションでは、成人者が中学生時代の写真や恩師からのメッセージを織り交ぜた動画が披露され、新成人者へエールが送られました。



成人者から保護者へ向けたサプライズ演出。20年間の感謝の思いを伝えました。

令和 初の成人者として 決意を胸に



交通安全宣言 小向蓮太さん(上厚真)



誓いの言葉 澤田昇磨さん(本郷)



答辞 佐々木鈴花さん(厚和)



記念品受領 石野未華さん(表町)

答 辞

私たちは今日、こうして無事に成人となることができました。これはひとえに、これまでの二十年間、大きな愛情を持って育てていただいた皆様のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、高校を卒業後、札幌の大学へ進学し、一人暮らしを始めました。札幌は大都市で、様々な情報に溢れ、交通の便などとても便利で住みやすい場所です。そのような場所に住み始めて二年が経とうとしていますが、私は、そのように住みやすい大都市札幌であっても、ふるさとである厚真にはかなわないと思っています。澄んだ空気、鳥や虫の声、緑豊かな広大な土地は都会には無い、厚真のなによりの魅力だと思います。この先、どのような人生を送り、どこに住むことになっても、ふるさとへの想いは決して消えることはありません。このような素晴らしい町に生まれ、共に歳を重ねてきたことを誇りに思います。

去年は「平成」から「令和」へと新しい年号となり、私たちは、令和になって初めての成人者となります。私たちが生きていくこれからの社会には、明るい未来と共に多くの困難が待ち受けていると思いますが、若者らしく失敗を恐れず、それぞれに大きな夢と希望を持って立ち向かっていきたいと思っています。結びになりますが、この厚真町で共に過ごした仲間たちと共に成人式を迎えられるのは、この上ない喜びです。これから進む道はそれぞれ違いますが、厚真町出身者としての誇りを胸に、しっかりと生きていきたいと思っています。そして、素晴らしいときを共に過ごした仲間との絆を、これからも大切にしていきたいと思います。ふるさと厚真に誇りを持ち、厚真がますます発展することを心から願うと共に、将来の新成人の模範となるべく精進していくことをここに誓い、答辞といたします。



手作り遊び場プロジェクト 冒険の杜ワークショップ



11月17日(日)、12月15日(日)に厚真放課後子どもセンターで第2回、第3回の「冒険の杜ワークショップ」を開催しました。

このワークショップではウッドデッキや本棚などの制作の他に木登りや乗馬、火起こし体験などを実施しました。制作では、設計図を見ながら木材の寸法を測ったり、寸法どおりに木材を切ったりして、大人から子どもまでみんながかかわりながら完成させました。普段なかなか体験できない木登りや乗馬は子どもたちに大人気でした。

参加者からは、「普段かかわりのない人とたくさん話すことができた」、「物作りの楽しさを味わうことができた」などの声がありました。来年度の実施も予定していますので、興味のある方はお問い合わせください。

【問い合わせ】
社会教育グループ
☎27-2495

冬休みスケート教室開催

1月8日から14日にかけて、小学生対象のスケート教室が町民スケートリンクで開催され、総勢146人の児童が参加しました。

この教室では、2月に開催される「スケート記録会」に向けて、足の蹴り方や手の振り方などの基本練習が中心に行われました。

寒空の下、児童は講師の先生に教わりながら、元気いっぱい練習に励んでいました。



厚真町 スピードスケート記録会

次のとおり「第40回厚真町スピードスケート記録会」を開催します。

参加する児童生徒への大きな声援をお願いします。

- ◆日時 2月1日【土】
開会式 午前9時00分
競技開始 午前9時30分
- ◆ところ 町民スケートリンク(新町)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-3775(スポーツセンター)

スケートリンク ご利用ください!

町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

皆様のご利用をお待ちしています。

- ◆利用期間 2月29日【土】まで
- ◆利用時間 午前9時から午後8時まで
(天候や気温等により変更あり)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-3775(スポーツセンター)

就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を本年度から入学前に行います。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
 - ①お子様が令和2年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
 - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
 - ③経済的に困りの世帯
 ※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(令和元年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助額

1. 小学生	
(予定) 新入学用品費	50,600円
学用品費	11,520円
2. 中学生	
新入学用品費	57,400円
学用品費	22,510円
- 援助時期等 令和2年3月中旬
(保護者の口座に振込みします)
- 申込期限 令和2年2月14日(金)
- 必要書類
 - ①準要保護児童生徒認定申請書(教育委員会にあります)
 - ②世帯全員の、平成30年1月から12月までの収入を証明する書類
 - ③印章
 - ④振込先の口座がわかる通帳等
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月に同額の新入学用品等を援助します
- 問合せ 学校教育グループ
☎27-2494

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等を除く)
- (2) 高等専門学校(第4・5学年及び専攻科)
- (3) 専修学校専門課程(2年以上4年以内)
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円以内で1万円単位に希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法

希望される金融機関の口座(保護者等)へ毎月上旬にお振込いたします。

- ・通常貸付: 初回貸付は7月中旬(4～7月分)
- ・早期貸付: 初回貸付は6月中旬(4～6月分)

※早期貸付の場合、前年(令和元年)の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

- ①申請書(教育委員会にあります)
- ②在学証明書
- ③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
- ④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
- ⑤課税資料閲覧承諾書(申請書に添付します)

●申込期限

令和2年5月29日(金)まで
(ただし、早期貸付(6月)を希望される場合は5月1日(金)までに申請してください。)

●申込・問合せ先 学校教育グループ

☎27-2494

12月定例教育委員会報告

12月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

中央地区厚南地区学校運営協議会/教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会/厚真町英語教育推進委員会推進検討会議/厚真町教育支援委員会/第3回冒険の杜ワークショップ/ときめきモノづくりデイキャンプ/わくわく森あそびデ

イキャンプ/(ほか4件)

◆議案

厚真町教育委員会事務局職員の人事について(ほか1件)

◆協議

令和2年度教育費予算要求内容について(1件)

◆その他

総合教育会議の開催について(ほか2件)

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

第162回(2019年下半期) 芥川賞・直木賞が発表されました

芥川龍之介賞 古川真人著 「背高泡立草」

直木三十五賞 川越宗一著 「熱源」

直木三十五は直木三十一から始まった

「直木三十五賞」に由来する大阪出身の作家、直木三十五(さんじゅうご)はペンネームで、本名は植村宗一といいます。

直木は、「植」の漢字を分解したもの、三十五は年齢を元にしています。31歳でデビューした時は、直木三十一と名乗っていました。歳を重ねるごとに、三十二、三十三と名前を変えていましたが、34歳の時に菊池寛に「もういい加減やめろ」と言われた、名前を茶化されるのが嫌になった、などの理由から三十五で変えるのを止めてしまいました。



2月22日は猫の鳴き声にちなんで猫の日です。図書室では今年も猫がテーマの本、招き猫などの猫の飾り物を展示します。本物の猫ちゃんはいませんが、縁起物の猫たちがお待ちしています。

2019年 厚真町で貸出回数が多かった本

一般書部門

- 1位 そしてバトンは渡された／瀬尾まいこ
(2019年本屋大賞受賞作)
- 2位 人生は美しい事だけ覚えていればいい
／佐藤愛子
- 2位 検事の信義／柚月裕子
- 4位 帰還／堂場瞬一

児童書・絵本部門

- 1位 人体のサバイバル3巻
- 2位 ヨシタケシンスケ それしかないわけないでしょう
- 2位 トロル おしりたんてい
ププツッキヤマのしろいかいぶつ
- 4位 人体のサバイバル1巻

■青少年センター 2月の休館日

23日(日曜日) 天皇誕生日

※24日(月曜日)は振替休日ですが、開館します。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

2月のおはなしのびっこは27日(木) 10時から 青少年センター絵本コーナーです

☆放課後子ども教室☆

新しい年が始まりました。干支の中でも、ねずみ年はスタートの年。心穏やかに、明るくスタートできるように努めていきたいと思えます。子どもたちも冬休みが終わり、3学期を迎えました。学年のまとめとなる3学期です。ケガや病気になることなく、元気に過ごせることを願っています。

毎年、冬休み期間中におこなっている放課後特別教室ですが、今年度は各小学校、冬休みに入るタイミングに少し開きがあるため、今回は冬休みを先取りして冬の特別教室を、12月21日(土)・22日(日)の2日間で実施しました。1日目は、モノづくりがメインのプログラムを実施。午前中はスワッグという飾り物を作りました。トドマツやヒバを土台にし、その上にドライフラワーや木の実などを飾りつけていきます。手芸用の針金や、輪ゴムを使って留めるので、子どもたちでも簡単にアレンジメントをすることができました。午後からは、市販のチョコレートやクッキー、カステラなどを使って、お菓子の家作りにチャレンジです。トースト用のチョコレートクリームをのりにして、材料をつなぎ合わせていきます。途中、崩れたり付けたものが剥がれたり、アクシデントもありましたが、それぞれに個性豊かな一軒家が完成し、最後は箱に入れて各家庭へ持ち帰りました。おうちの人と一緒に美味しく食べてくれたら幸いです。



2日目のプログラムは、厚真町の町有林である環境保全林(豊沢地区)での森遊びに出かけました。遊歩道を辿って森の奥を探検し、山ブドウのツルでターザンごっこをしたり、木登りをしたり、その場の環境を活かした遊びを楽しみました。前日の夜に降り積もったフワフワの雪のおかげで、登った木の上からジャンプをしてもへっちゃらです。最初はうまく登れなかった子も、何度も挑戦することで、少しずつ感覚をつかんでいき、高いところまで登っていきことができるようになりました。子どもの成長のスピードを肌で感じる瞬間でした。お昼はおうちから持ってきたおにぎりと、現地で作った豚汁でご飯を食べ、午後からは基地づくりや、たき火でおやつ作りなどをして遊びました。気温は低かったものの、風はおだやかで、最高の森遊び日和だった1日。「来年もまた絶対遊びに来る!」と、子どもたちの固い決意を聞きながら帰路につきました。

